

第 6 次神戸市男女共同参画計画（案）の考え方について

1. 計画案の考え方

- ・第 5 次計画の策定から 5 年が経過。この間、ジェンダー平等や女性活躍に関する認識が広がり、取り組みが進みつつある分野もある。神戸市に求められる役割にも変化があり、こうした動きを反映させる。
- ・DV 計画及び困難女性支援計画（以下、「DV 計画等」という。）と統合することを踏まえて関係する内容を反映。
- ・その他、第 5 次男女共同計画の進捗、国での策定検討状況、社会情勢などを踏まえて内容を反映。

2. 計画名称の副題

DV 計画等と統合することも踏まえて「多様性を大切にするまちづくり」から「個人の尊厳が守られるまちづくり」に見直し

3. 策定の主旨・背景

男女共同参画の実現に向けては、次の点を踏まえた内容の見直しを行う。

- ・ジェンダーギャップ指数（国）や女性の就業率（神戸市）の低さを指摘されることが多く、経済分野における女性の参画拡大を重視する
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現にとどまらず、すべての人が希望に応じて働くことができる環境づくりが必要
- ・困難を抱える女性への支援が法制化され、DV 対応などと合わせて、女性が直面するあらゆる問題について総合的に対応する必要がある

4. 計画の位置づけ

DV 計画等にかかる根拠法令を追加

5. 男女共同参画社会の実現に向けた現状と課題

DV 計画等と統合するため、関連指標を追加。

6. 基本目標と施策の方向性

様々な課題・取り組みを4つの柱に集約・整理し、基本目標として設定する。
第6次計画では次のとおり基本目標を見直しするとともに、具体的な取り組み内容を整理した。

基本目標1： あらゆる分野における女性の活躍・参画拡大の推進

社会・経済・企業等における女性の活躍・地位向上や平等な待遇の保障、女性個人のスキルの向上など、主に「働く」というテーマについて、企業や個人に対する直接的な働きかけを中心にとりまとめた。

基本目標2： 全ての人が希望に応じて働くことができる環境づくり

視点を「家庭」や「人生」に置いて、女性をとりまく周囲の環境への働きかけをテーマとする。ライフステージの実現は当然のこととして、男性の意識や行動に関する取り組みを重視した。

基本目標3： 個人の尊厳が守られ、安全・安心かつ自立できるくらしの実現

DV計画・困難女性支援計画を兼ねた計画とするため、DVや経済的困窮など、様々な困難に直面する女性への支援やその予防に関する取り組み、さらには防災・災害対応まで網羅的に取り上げた。

基本目標4： 男女共同参画の視点に立った社会づくりと理解の促進

基本的に現計画を踏襲する内容とした。

7. 指標・数値目標

・女性活躍の推進に関する指標

市として特に注力すべき事業などを取り上げ、各取り組みの進捗にあわせて数値目標の項目や指標を変更

・女性の参画拡大やワーク・ライフ・バランスに関する指標

本市の他部門別計画の設定目標値にあわせて変更